

科目名	医薬品情報学			ナンバリング	CLI187	授業形態	講義
対象学年	4 年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	石川暁志	担当教員	渡邊義久〇、石川暁志〇、富岡節子				

授業の概要	医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を理解し、正しく扱うことができるようになるために、医薬品情報の収集、評価、加工、提供、管理に関する基本知識、技能、態度を習得する。						
到達目標	医薬品情報を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。医薬品情報にかかわっている職種を列挙し、その役割について概説できる。医薬品情報源の資料の分類について概説できる。厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業などの発行する資料を列挙し、概説できる。病院・薬局の現場においての医療スタッフからの質問や、患者からの問い合わせに対し、国内・国外の適正な資料をもとに迅速かつ、質問者のレベルに合わせて情報を加工し、提供できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	医療の現場におけるあらゆる照会に対し、柔軟で的確にかつ迅速に対処できるよう、利用可能な資料を把握し、その問題解決にはどの資料が適切であるか、さらに、その内容を評価ができる薬剤師となることを目指し、医薬品情報学を習得してください。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
	○	3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1、薬剤師が関わる機関について理解できる。2、薬剤師として必要な情報収集の手段について列挙できる。3、情報提供を行う相手に応じて情報を加工し、適切な情報提供ができる。4、添付文書やインタビューフォームに記載されている情報について理解できる。5、添付文書上に記載されている禁忌の項目を列挙できる。 6、必要な情報を二次資料で検索し、適切な一次資料にたどり着けることができる。7、科学的根拠に基づいて適切な情報提供ができる。	1、薬剤師が関わる機関について、必要とする情報がどの機関で得られるか分かる。2、業務上必要な情報を選択肢の中から目的の情報を得ることができる。3、情報提供を行う相手に応じて情報を加工し、適切な情報提供し、かつその周辺情報まで理解させることができる。4、添付文書やインタビューフォームに記載されている情報について適切な項目を抽出し提供ができる。5、添付文書上に記載されている禁忌の項目を列挙でき、禁忌処方に遭遇した場合、代替薬などを提案することができる。6、一次資料をまとめて、必要とする情報をまとめることができる。7、科学的根拠に基づいて適切な情報提供ができ、かつ、具体的な提案を示すことができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					80%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート			○	○	○		20%
授業態度・授業への参加							受講態度が悪い学生は減点する場合がある
出席							加点はしない

課題、評価のフィードバック	期末試験後、希望者は面談をし試験の解説を致します。
---------------	---------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	医薬品情報の重要性、この科目について、 薬剤師が関わる職種や団体について (担当:石川)	医薬品情報の重要性科目についての説明および、流れについて解説します。薬剤師が関わる医療関係者や団体について解説します。	E3-(1)-①-2
	第2回	情報源 一次資料、二次資料、三次資料について (担当:石川)	一次資料、二次資料、三次資料について、代表的なものについて解説します。必要とする資料への到達方法について解説します。	E3-(1)-②-1, 2 E3-(1)-③-2
	第3回	厚生労働省、PMDA、製薬企業などの発行 する資料について (担当:石川)	厚生労働省、PMDA、製薬企業などが発行する資料について解説します。それらの資料の入手方法について解説します。	E3-(1)-②-3
	第4回	緊急安全性情報(イエローレター)について (担当:石川)	緊急安全性情報(イエローレター)について解説します。これまで発行された代表的なものについて解説します。	E3-(1)-②-5
	第5回	安全性速報(ブルーレター)について (担当:石川)	安全性速報(ブルーレター)について解説します。これまで発行された代表的なものについて解説します。	E3-(1)-②-5
	第6回	添付文書とインタビューフォームについて1 (担当:石川、渡邊)	添付文書とインタビューフォームの特徴ならびにその違いについて解説します。状況に応じた使い方について解説します。実際に現物を用いて、調査をします。	E3-(1)-①-1, 4, 6 E3-(3)-⑤-2
	第7回	添付文書とインタビューフォームについて2 (担当:石川、渡邊)	添付文書とインタビューフォームの特徴ならびにその違いについて解説します。状況に応じた使い方について解説します。実際に現物を用いて、調査をします。	E3-(1)-①-1, 4, 6
	第8回	情報の収集、評価、加工、提供、管理 (担当:石川)	情報の収集、評価、加工、提供、管理についての基本事項について解説いたします。患者からの情報の収集、評価に必要な基本的事項を修得します。	E3-(1)-③-1, 2 E3-(2)-①-1, 2 E3-(2)-②-3, 4
	第9回	医薬品の比較・評価:病院・薬局における医薬品の採択・選択 RMPについて(担当:石川)	病院・薬局において医薬品を採用・選択する際に検討するべき項目について解説いたします。医薬品リスク管理計画(RMP)について解説致します。	E2-(1)-⑦-1, 2, 3 E3-(1)-①-5
	第10回	日本医薬情報センター(JAPIC)とその検索システムについて(担当:石川、渡邊、富岡)	一般財団法人日本医薬情報センター(JAPIC)の特徴ならび、その検索システムについて解説いたします。検索システムを利用して、文献調査を行います。	E3-(1)-⑦-2, 3 F-(3)-②-1
	第11回	セルフメディケーション領域における医薬品情報について(担当:石川)	OTC領域の医薬品情報について解説いたします。医療用医薬品とOTCの違いについて解説いたします。セルフメディケーションに関する重要な項目について解説します。	E2-(9)-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
	第12回	妊娠と授乳について(担当:石川、富岡)	妊娠中、授乳中の薬物療法における適切な情報収集について解説および演習を行います。	E3-(3)-④- 2
	第13回	添付文書に示される代表的な禁忌、警告について(担当:石川)	薬剤の代表的な禁忌、警告について解説します。疾患ごとの禁忌薬について解説いたします。	E3-(1)-②-5
	第14回	コンパニオン診断について 科目のまとめ(担当:石川)	コンパニオン診断にもとづく薬物治療について解説します。科目のまとめを行います。	E3-(3)-⑤-2
	第15回	予備日		
		試験	授業終了後、期末テストを行う。範囲は第1回から第14回の全ての範囲とします。第14回に科目のまとめを行います。	
授業の進め方		教科書を用いて進めます。必要に応じて授業プリントを渡します。毎回前回の授業の復習を行います。授業内に課題を行う場合があります。		
授業外学習の指示		復習を中心に行ってください。予習として、各回の教科書該当領域を読むようにしてください。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	ベーシック教科書シリーズ21 医薬品情報学(第2版) 上村直樹/下平秀夫 化学同人社 ISBN-13: 978-4-7598-1625-9 ¥3,800＋税
参考書	コンパス医薬品情報学 理論と演習 小林道也/中村仁 ISBN: 978-4-524-40359-2 ¥4,200＋税
参考URLなど	一般財団法人日本医薬情報センター(JAPIC) http://www.japic.or.jp/ 医薬品医療機器総合機構(PMDA) http://www.pmda.go.jp/ 医薬品医療機器総合機構(PMDA)の「医薬品医療機器情報配信サービス(PMDAメディナビ)」に登録して、各種情報について入手するように努めてください。
その他	(薬剤師として求められる基本資質)⑥ 薬物療法を主体的に計画、実施、評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、医薬品を供給し、調剤、服薬指導、処方設計の 提案等の薬学的管理を実践する能力を有する。 大学独自10%